

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
北陸193号	約14.7ha	650kg/10a	194kg/10a(456kg/10a) [※]

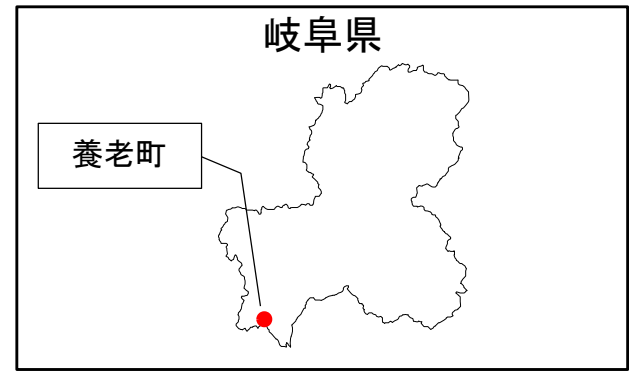
※作柄調整後の地域の平均単収

【経営概況】

- 平成16年営農組合設立
- 代表及び、作業従業員 3名
- 地域の担い手不足と作業員の高齢化に対応するため、若手作業員の育成に努力。主食・飼料用米の2本立て

【作付品目】

- 主食用米
 ハツシモ・ほしじるし 10.5ha
- 飼料用米(種子用を含む)
 北陸193号 14.8ha



【取組のきっかけ】

- 平成26年に営農組合からの法人化に伴い、効率的な栽培・作業を実現し、農地集積の団地化の推進として収益性のある飼料用米に取り組む。

【取組概要】

- 農業機械の有効利用により作業の効率化を図る観点から、主食用米と飼料用米の作期分散を図り、産地交付金の利用による収益向上を図る。
- 耐倒伏性に優れ低湿地地帯でもある当地での栽培に適した北陸193号の生産に取り組む。
- 田植は密播疎植による育苗箱の減少と株間24cmの疎植化を行っており、病虫害防除剤は播種時に、除草剤は田植時に同時に行うことでコスト低減を図っている。
- 基肥は高度化成オール14を10a当たり40～50kg田植前に実施。追肥はNK化成を10a当たり30～40kg散布機により散布。
- 地元の施設利用による乾燥・調整と、フレコン出荷によりコスト低減を図っている。
- 買取業者である岐阜養鶏農業協同組合がフレコンのまま供給先まで運搬し流通コスト低減につなげるとともに、契約出荷で安定的な飼料用米栽培に取り組んでいる。